

1, 概要

・こども園では、保育士が保育を振り返り今後の園運営に生かすことを目的に下記の4項目を柱に自己評価を実施しました。

- 1) 保育の充実と改善に向けて
- 2) 職員の資質・専門性の向上
- 3) 職員間の相互理解・協働
- 4) 保護者・外部団体・地域との連携

2, 結果と分析

- 保育課程に基づき月・週の目標を作成し、保育を実践しました。コドモンを活用し、保護者への事務連絡をはじめ保育内容を具体的にお伝えすることで、お子さんの様子を知っていただく機会をつくりました。
- 子ども一人ひとりの姿を内面から捉え、子ども理解に努めるよう職員全体で共有しました。丁寧に関わることで、信頼関係を築くことが出来たと考えています。環境作りと、具体的な保育の方法を職員間で共有することで、子どもの個性を大切にし、保育を振り返る機会を持つことが出来ました。一方で、「体験・経験の幅を広げる活動」「興味を引き出し想像力や意欲が湧くような働きかけ」についての課題がありました。
- 園周辺の自然環境を積極的に取り入れた保育実践を行っています。季節ならではの遊びや、行事を通し様々な人と交流することで経験値が高まったと考えています。特に、食育に関しては「種まき」「畑管理」「収穫」「調理」を通して生きる力の礎となるような取り組みを行うことが出来たと考えます。
- 町内で活動している団体と交流するなど、地域全体で子どもを見守り、地元に関心を感じられるような雰囲気づくりを行っています。

3, 今後の対応

- 今回の結果を踏まえ、保護者や地域の皆様の声を真摯に受け止め、安心・安全な保育を実践し開かれた園運営を実践してまいります。また、事故防止マニュアルを再確認し、施設内外の安全点検を実施するとともに、子ども達が安全で主体的に活動できる環境を整えていきます。今後も地域資源とともに、子どもファーストの意識を持ち保育の充実を進めてまいります。